

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年9月16日

## 【評価実施概要】

事業所番号	270101512		
法人名	社会福祉法人諏訪ノ森会		
事業所名	グループホーム宮田館		
所在地 (電話番号)	〒039-3505 青森県青森市宮田字玉水238番地4 (電話) 017-726-2737		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 8月 4日	評価確定日	平成 20年 9月 16日

【情報提供票より】(平成 20年 7月 7日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 15年 2月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤	5人, 非常勤 3人, 常勤換算 6.3人

### (2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	12,000 円	その他の経費(月額)	6,000 円
敷金	有( ) 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	400 円	昼食 400 円
	夕食	400 円	おやつ 200 円
	または1日当たり 円		

### (4) 利用者の概要( 7月 7日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	0 名	要介護2	5 名		
要介護3	4 名	要介護4	0 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83.8 歳	最低	75 歳	最高	96 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	諏訪沢クリニック・医療法人ミナトヤ歯科
---------	---------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>ホームは住宅街にあり外観も地域にとけ込んでいる。事業所の理念としている「あづましい」を実践するため利用者の生活歴を大切に、入居前の生活・関係を保てるよう努めている。また、地域住民との関わりも深く、気軽に立ち寄ることができ環境であり、互いの交流も活発に行われている。</p>
---

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>金銭管理出納帳、サービス担当者会議録などの書類は改善され実施されている。玄関の施錠については安全確保のため日中も鍵を掛けているが、最低限の危険を回避した上で鍵を掛けない工夫をすることを検討することを望みません。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>オンブズマンや自己・外部評価の結果を受け、改善に向け職員全員で話し合い、前向きに対策に繋げている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議へは利用者、家族、町内会長なども参加し有意義な話し合いを持つことができ、様々な意見、情報交換をすることで町内の協力を得ることができている。運営推進会議をホームで行うことにより、現状を見て理解を深めてもらうことが出来ている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>オンブズマンを導入しており利用者、家族の意見、苦情などに速やかに対処し、結果は玄関に掲示し改善内容がわかるようにしている。面会時、または電話連絡、月1回広報誌を郵送するなどし、入居者の近況を家族へお知らせしている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>チラシを近隣へ配布し、認知症やホームへの理解を深めてもらえるよう働きかけている。また、毎月開催しているカラオケ大会や地域行事への参加を通して近隣の人たちとの繋がりが強く、良い関係が築けている。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	全職員で一緒に話し合い、その人らしい生活を尊重した事業所独自の理念を掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム内へ理念を掲示したり、研修や会議などで理念に添ったケアが出来ているか振り返りをし、職員同士理念への理解を深めるよう努めている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	チラシを近所へ配布し、認知症やホームへの理解を深めてもらえるよう働きかけている。また、毎月開催しているカラオケ大会や地域行事への参加を通して近隣の人たちとの繋がりが強く、良い関係が築かれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>オンブズマンや自己・外部評価の結果を受け、改善に向け全職員で話し合い前向きに対策に繋げている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議へは利用者・家族・町内会長なども参加し有意義な話し合いをもつことができ、様々な意見・情報交換をすることで町内の協力を得ることができている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>問題解決に向けその都度、市町村の担当者へ連絡し情報交換を行っている。運営推進会議への参加が得られない場合は書面で報告している。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在、成年後見制度を活用しての方がおり、新人職員等へ研修会・勉強会の機会を設け理解を深めている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>日々のケアが虐待にならないよう職員同士で意識し、確認しながらケアを行っている。また、定期的に勉強会を開催し虐待について学んでいる。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時に重要事項説明書等の書面で説明し、本人、家族の意向を確認しケアの方針を決めている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>月に1回広報誌を郵送し、入居者の様子を報告している。また、個別の出納帳を記入し出し入れの都度捺印し金銭管理の責任を明らかにしている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情等があった場合には書面に記し、職員で話し合いの場を設け、そこで出た意見を反映させサービスの向上に努めている。オンブズマンを導入し結果を玄関に掲示しどのような対処がなされたのかわかるようにしている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>法人の方針で教育のため人事異動は定期的実施される。顔なじみの職員が、新しい職員と利用者の間に入り良い関係が築けるよう工夫している。また、家族へも必ず異動になったことを伝え理解を得ている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修は法人職員が講師となり計画的に実施されている。また、職員育成のために項目、段階別に分けスキルアップが図れるよう独自のプログラムがある。外部研修に関しては、法人より研修の情報があり希望者が参加している。		
14	18	同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	東部地域包括支援センター内のグループホームの職員で、毎月勉強会を開催し交流をすることで、様々な情報交換や悩みを相談し、質の向上に向けて取り組んでいる。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所前の生活や交流関係を絶たないよう、入居時に生活歴を細かく聞き取りケアへ取り入れている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者が一人ひとり役割を持って生活できるよう配慮し、穏やかな雰囲気の中でその人らしく生活できるよう支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人又は家族の希望を聞き、生活歴と合わせて個々の生きがいや役割を見つけてだしている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	課題が出たらその都度カンファレンスを行い、ケアの見直し検討をしている。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	本人の意向を踏まえて援助方法を決めている。また、身体的、生活面のサービス内容に変更が生じたときには介護計画を変更し、サービス担当者会議の記録へ検討内容を記載している。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人の希望に応じ買い物や地域行事などへ外出できるよう努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所時にかかりつけ医を確認し、継続して通院出来るよう支援している。週1回主治医への定期的な通院を行っている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取り介護へ向けて法人で委員会を設置し、終末期に対する本人、家族の意向に添ったケアが行われるよう医療関係者との関係作りを構築している。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	法人の委員会で毎月会議を行い伝達にて学習している。個人情報の取り扱いも個々にファイルし、職員にも秘密保持の徹底を図っている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の日課や思いを大切に、本人のペースで生活できるよう支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事準備や後片づけなど入居者それぞれが役割を持って行っている。献立は栄養士が作成している。また、献立以外にも近隣の方から頂いた野菜やホームで育てた野菜の収穫を喜びながら食事を味わっている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴日は定めているが、入浴日以外でも好きなときに入浴できるよう環境を整えている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>生活歴の中から本人の能力を活かした役割や興味のある物へ取り組んでもらえるよう支援している。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>天候や気分に合わせて散歩に誘い出掛けている。買い物も希望にそって行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>勉強会を実施し、日々の生活の中で職員同士話し合い認識の共有を図っている。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>玄関が道路に近く車の往来もあること、不審者の侵入を防ぐため24時間施錠をしている。</p>		<p>近隣の店へ買い物へ出掛ける方がいるため、地域住民へホーム前の道路を徐行してもらうなど働きかけ鍵をかけなくても安全を確保する工夫をすることが望ましい。また、施錠していることで行動制限に繋がらないよう改善に向けて前向きな検討を期待したい。</p>
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回避難訓練を実施している。町内の協力を得ているが実際に地域住民が参加しての訓練はまだない。</p>		<p>次回の避難訓練では関係機関や近隣の方への参加を呼びかけ、実際の場面を想定して行う予定である。近隣の協力が重要となるため継続した実践ができるよう期待したい。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>法人の栄養士が献立を作成しているため食事のバランスはとれている。食事の摂れなくなった入居者に対しては、その都度、嗜好品を勧めたりし補食に努めている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>うがい、手洗いを施行し予防に努めている。インフルエンザ予防接種を行い、衛生委員会を設置しマニュアルを作成し活用している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p>					
<p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者が自由につろげるようソファを配置し好きな場所で休んでいる。中庭の野菜や花、滝の流れる音などで季節を感じられるよう雰囲気作りを心掛けている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みの物を持ってきていただき個々に合わせた居室環境を整えている。</p>		

 は、重点項目。